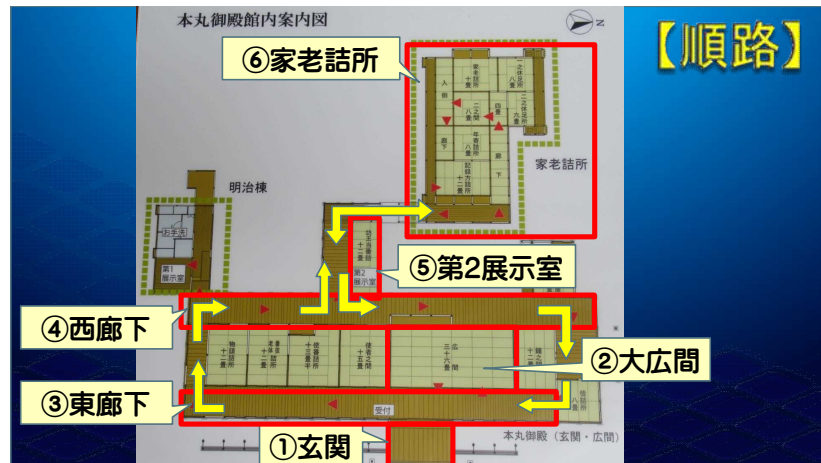


かわごえじょう ほんまる ごてん
川越城本丸御殿

川越市立博物館

かえい
嘉永元年(1848年)築：約170年前

まつだいら なりつね
城主 松平 斉典



玄関

唐破風屋根



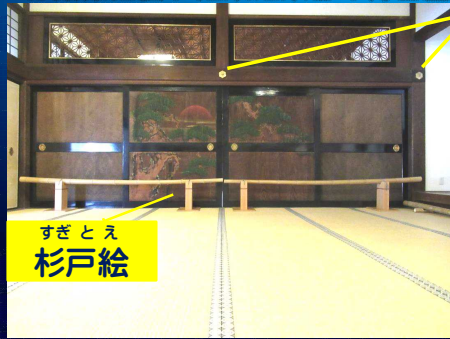
太い柱

【見どころ】

- からはふやね
巨大な唐破風屋根
- まぐち はば
広い間口：入口の幅
- 8寸(約24cm)角の太い柱

大広間①

お殿様に会いに来た来客の待合室



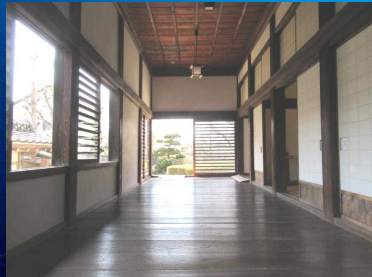
すぎとえ
杉戸絵



これは何だろう？
答えは、第2展示室
で確かめよう。

【見どころ】
じょう
● 36畳の広さ
はん ごよう え し
● 川越藩御用絵師
ふなつらんざん
船津蘭山の杉戸絵

東廊下と西廊下のちがい



【東廊下】



【西廊下】

大広間②



【見どころ】
じょう あと
● 天井に残る跡
これはいったい何の
跡でしょう？

① バレーボール？
② けむりのよこれ？
③ 木のもよう？

答えは、第2展示室で確かめよう。

東廊下と西廊下のちがい

ちがいは、わかったかな？

【ヒント】
・足ざわりは、どうだろう？
・天井は、どうだろう？
●なぜ、ちがいがあるのかな？

東廊下と西廊下のちがい

【東廊下】 殿様や来客が通る廊下：広く、豪華に

【ちがいに注目】

てんじょう

●天井の高さ

東廊下の方が高い

ゆか

●床の材料

東廊下：けやき材

西廊下：ツガ材

●窓のレールの数

東廊下：2本

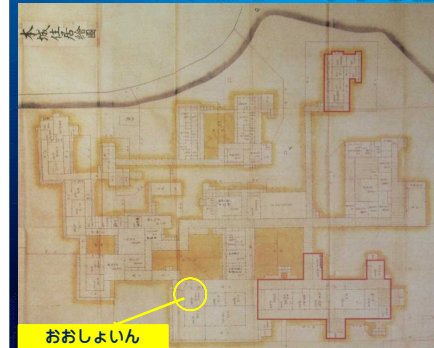
西廊下：3本



【西廊下】 身内や働く人が通る廊下



第2展示室② 本丸住居絵図に注目



おおしよん
大書院

【見どころ】

とう

●当時：16棟の建物

つぼ

1025坪に及ぶ広大な建物
東廊下の先に殿様と対面
する「大書院」があった

あかわく

●現在：赤枠の建物

玄関 広間 家老詰所のみ

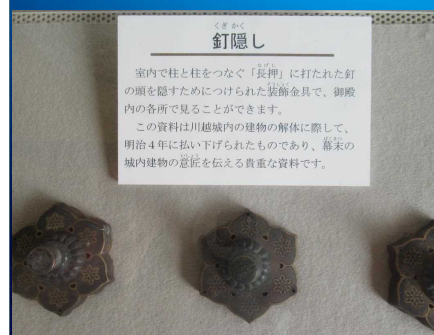
第2展示室① 川越城本丸御殿年表に注目

年号	西暦	できごと
嘉永元年	1848	本丸御殿上棟する
明治4年	1871	廃藩置県 (川越藩→川越県→入間県)
明治5年	1872	家老詰所を解体 福岡村の星野家へ払い下げる
大正7年	1918	たばこ 煙草工場となる
昭和8年	1933	初雁武徳殿(武道場)となる
昭和22年	1947	川越市立第二中学校の室内運動場に 利用される
昭和62年	1987	家老詰所が上福岡市で発見される
平成2年	1990	家老詰所移築復原される

大広間の天井に
残っているのは
バレーボールの跡



第2展示室③ 展示ケース内に注目



釘隠し

室内で柱と柱をつなぐ「長押」に打たれた釘
の頭を隠すためにつけられた装飾金具で、御殿
内の各所で見ることができます。
この資料は川越城内の建物の解体に際して、
明治4年に払い下げられたものであり、幕末の
城内建物の意匠を伝える貴重な資料です。

各部屋に付けられた
金色の物の正体は
これだ！



かろうつめしよ
家老詰所

【見どころ】

- 家老が執務を
おこなっていた部屋
- 奥にはトイレもある
- 庭の眺めも最高



かろうつめしよ
家老詰所



家老が見ているのは
何だろう？

- 部屋に掲示されている
資料を読んでみましょう。